

# 尾鷲がんばり新聞

2018 AUTUMN

尾鷲を元気にし〜とて、集まったんさな！

ほぐし鯛めしの素 三和水産めでたい屋

## 風光明媚な三木浦町で すすす元気に旬の真鯛



小川さん夫妻

これから冬にかけて  
どんどん大きくなって  
脂のついていくよ

尾鷲バルはおもしろかった  
来年は何を出そうか  
今から考えようよ

古くは遠洋延縄マ  
グロ漁の基地として  
栄え、現在は真鯛養  
殖が盛んな三木浦町。  
訪れた日は秋の長雨  
真つ只中で、ふだん  
の青い海山は見れま  
せんでしたが、しっ  
とりとたたずむ漁村  
もまたいいものです。  
そんな三木浦町で真  
鯛の加工品を次々と  
生み出している三和  
水産めでたい屋さん  
をたずねました。

朝市 三木浦こいやあ



カフェ  
マドロス



上/三木浦の町並み、目の前の湾で真鯛が養殖されている。中/毎月第三土曜に開催されている朝市。新鮮な真鯛が安く手に入ります。下/今年できた町に1軒のカフェ。町の人の憩いの場。

は奥行きがあるので、  
台風の影響も少ない  
んですよ。波でお腹  
やしつぽが擦れたり  
ストレスで色が黒く  
なったりするんです

の真鯛はほんまいら  
ことないよ」と笑う  
小川さん夫妻。  
初夏には尾鷲の町  
中で開催された旬の  
コツまみバルにも参

【三和水産 めでたい屋】  
〒519-3814 三重県尾鷲市三木浦町 339  
tel.0597-28-2336  
http://owase-medetaiya.com

尾鷲旬のコツまみバルにて



真鯛の洋風  
アレンジに  
挑戦！

毎年大盛り上がりのお食飲みイベント、通称尾鷲バル。居酒屋やカフェ、スナックなどをはこして周ります。三和水産さんはテント出店で参加。

＜発行人＞  
尾鷲観光物産協会

## 今年サンマが捕れて 本当に良かった



東さん

見かけたら  
声かけてください

さんま寿司や魚ご  
はんなど郷土の味を  
守り続けている三紀  
産業さん。今回お届  
けするのは「酢ペさ  
んま」。サンマといえ  
ばこの二、三年不漁  
続きでしたが今年が  
戻ってきているとか。  
「北海道で捕れ出  
したと思ったら、台  
風や地震の影響で漁  
がストップしたみた  
いですね。でも日本  
列島近くを回遊して  
きてるみたいなので  
ひと安心。去年はサ  
ンマの確保に本当に  
四苦八苦しました。  
今年は大丈夫でしょ

【三紀産業】 〒519-3672  
三重県尾鷲市矢浜岡崎町 261-1  
tel.0597-22-4320  
http://www.ko-sanki.co.jp

## 五十年前から作り続ける 尾鷲産マフビ煮

明治から続く老舗  
の海産物店「大瀬勇  
商店」さん。カツオ  
の生節やカツオやブ  
リの燻製など燻製の  
技術を用いた商品が  
メインですが、アワ  
ビやトコブシ、サザ  
エなど貝類の商品も  
人気。今回オプショ  
ンでお届けする「ア  
ワビ煮」もそのひと  
つ。限定数を越える  
多くの注文が入りま  
した。  
「うれしいですね。  
お店では贈り物の詰  
め合せでよく出ます。  
アワビは地元の海女  
さんが採ったものを  
使ってるんですよ」と話してくれたのは



邦裕さん

【大瀬勇商店】  
〒519-3618 三重県尾鷲市栄町 2-16  
tel.0597-22-0563  
http://www.oose-shoten.jp

## みんな大好きガスエビ シリーズ続々登場!!

地元産の食材を  
使った商品を次々と  
生み出している「お  
わせお魚いちばおとと  
」さん。今回お届  
けする「ガスエビあ  
られ」もそのひとつ。  
「尾鷲港に水揚げ  
されたガスエビを焼  
いて粉末にし、しょ  
うゆ味のあられにま  
ぶしました。殻ごと  
粉にしてるのでエビ  
の風味が満点。香ば  
しいですよ」と説  
明してくれたのは、  
商品開発からパッ  
ケージデザイン、食  
堂での調理をもこな  
すスーパーウーマン  
のあさみさん。



あさみさん

【おわせお魚いちば おとと】  
〒519-3659 三重県尾鷲市古戸野町 2-10  
tel.0597-23-2100 http://e-ototo.jp

## 第33回 全国尾鷲節コンクール

開催日 平成30年 11月11日(日)  
会場 尾鷲市民文化会館



今年で33回目を迎える全国尾鷲節コンクールを11月11日(日)に開催いたします。全国から尾鷲節の愛好家たちが集まり、どなたでも参加出来る「総合の部」と65歳以上の「壮年の部」、小学生以下を対象とした「少年少女の部」の3部門で、尾鷲節の唄い手日本一を競っていただきます。また、大会当日には、地元で活躍する「ロックジャム」と「尾鷲節保存会こども太鼓」による和太鼓の競演や「坂東流柳蛙会」によるステージも予定しています。その他、会場となる尾鷲市民文化会館周辺では、ヤーヤ便事業者も参加する物産展を開催します。この機会にぜひ、1度尾鷲に足をお運びください。



▲空家だった築80年以上の平屋民家をリノベーション。文庫本から絵本、洋書など約2000冊が並ぶ。

【トンガ坂文庫】  
尾鷲市尾鷲市九鬼町121 金土日11:00-17:00  
tel.070-4340-2323 www.tongazakabun.co

## わせのお人

こんな小さな町の  
集まりにある本屋に  
集まってきた本は  
ほんたうに  
楽しみに遊びに  
来て下さい



トンガ坂文庫 本澤結香さん

人口わずか五百人足らずの小さな漁村・九鬼に今夏、古書店が誕生。店主は長野県松本市出身の本澤さん。四年前に東京のNPOが企画する地域課題解決プログラムに参加。プログラム終了後も頻りに九鬼に通うようになった。  
「旅行は好きで、国内外の特に田舎や島によく行ってました。その中でも九鬼町の海と山が近い景色は見たことのないもので、知り合いも増え、どんどん九鬼にはまっていってました」と本澤さんはほほ笑む。「もともと自分も本好きで。元地域おこし協力隊員・豊田さんの『遊びに来た人が寄れる所がほしい、本屋がいいのでは』の構想からトンガ坂文庫は生まれました。市内外から来られる本好きの方とお話するのが今一番の楽しみです」